

防災講演会あいち

地震・大雨！ ～どう備える、どう支援する～



出典：石川県ホームページ(令和6年(2024年)奥能登豪雨による能登半島被害状況)

日時

令和7年 **12月7日(日)**
13:30～16:30 (13時開場)

第1部

「天気予報が教えてくれる『命を守るサイン』」
講師：桜沢 信司 CBCテレビ報道部 気象予報士

第2部

「被災から学ぶ～私たちが日頃から出来ること～」
講師：内藤 瑤 認定特定非営利活動法人愛知ネット

場所

鯉城ホール（伏見ライフプラザ5階）

名古屋市中区栄一丁目23番13号

※駐車場はありませんので公共交通機関でご来場ください。

申込方法

申込みお問合せ：名古屋地方気象台

• 電話：052-751-5124
(受付：平日9:00～17:00)

• WEBフォーム：2次元コードを
読み込み必要事項を
入力してください。



受付期間：
12月5日までに
お申込みください。



入場無料（事前申込）

手話通訳あり

※先着順で定員（780名）になり次第締切ります。
名古屋地方気象台へ電話またはWEBフォームから
お申し込みください。

大雨や地震等により、中止する場合があります。
中止の場合は、名古屋地方気象台ホームページでお知らせします。

主催： 気象庁 名古屋地方気象台

後援： 地球ウォッチャーズ - 気象友の会 -



愛知県



名古屋市

講師プロフィールと講演要旨

「天気予報が教えてくれる『命を守るサイン』」

CBCテレビ報道部 気象予報士
桜沢 信司（さくらざわ しんじ）



講演要旨

天気予報を「ただの情報」として見ていませんか？ 近年、想像を超える豪雨などの気象災害が多発し、天気予報は「命を守るサイン」へと変わりつつあります。気象キャスターとして、約15年。その天気予報の活用術をはじめ、災害現場への取材で学んだことや能登の地震と大雨による複合災害など、これまで報道してきたことをお伝えします。また、SNSなどで溢れている防災ライフハックは本当に「使える技」なのか、実際に体験してきたことも含めてご紹介します。

「被災から学ぶ～私たちが日頃から出来ること～」

認定特定非営利活動法人愛知ネット 主任
内藤 瑤（ないとう よう）

2014年に愛知ネットへ入社後、11年間災害救援に従事。日頃は「被災地の学びを愛知へ」をスローガンに、防災啓発活動を行う。西尾市の学校避難所運営マニュアルに係る検討会議委員、知立市防災会議委員、至学館大学の非常勤講師など。現在は、愛知県を中心に防災研修の講師を務める。

<災害救援活動の実績>

平成27年9月関東・東北豪雨
平成28年熊本地震
平成29年7月九州北部豪雨
平成30年7月豪雨
令和元年東日本台風
令和2年7月豪雨
令和6年能登半島地震



講演要旨

過去の災害での教訓を共有し、いざという時に支援ができる体制作りや心構えについて考えます。